**③学校外部評価（専門家）**

　　　評価委員会開催日　　2023年4月11日（火）

　　　参考資料　　　　　①学校パンフレット　②内部評価調査結果　③出席率一覧

④年度末テスト結果一覧表　⑤各クラス別テスト問題

　　　評価委員　　　　　前大阪樟蔭女子大学　講師　大河内瞳

　　　　　　　　　　　　八尾市国際交流センター　職員　能勢靖子

学校に対する質問や提言と学校の考え

|  |
| --- |
| ・出席率の低い学生にどんな背景があるか。  　　→　メンタルケアの必要性を痛切に感じる。  　・八尾市が募集した日本語学校見学者と留学生たちとの交流は大変好評だった。またこんな機会があればよい。  　　　→　ティーチャーズトークではない、一般の日本語話者との交流の大切さを実感。外国人住民に対する日本語保障の自治体の取り組みにも学びつつ交流を深めたい。  　・生活者の学習者にはどんなニーズがあるか。  　　　→　聴講という形で授業を受けてもらっているが、必要度は高い。  　・職員研修はどのようになされているか。  　　　→　心掛けているが十分とは言えない。年4回の長期休業期間に最低1回ずつ実施したい。日本語や日本語指導だけでなく、学生の社会的背景など幅広い研修が必要。  　・教員の雇用形態はどうか。正規雇用でも不安定な契約内容の学校もあると聞く。  　　　→　本校では純粋な雇用契約であるが、経営の在り方とも関連する難しい問題。  　　　　　安定した就労環境がないとよい教育は生まれないことを自覚。  　・実習生の受け入れに感謝する。初任者の受け入れ方は？  　　　→　実習生の受け入れは日本語学校としても学習になる。初任者、特に新卒の場合はしっかりした受け入れ態勢が必要。  　・教科書・カリキュラムが「運用重視型」であることを考えた時、テストで「文字語彙」「文法」「読解」に分ける必要があるか。  　　　→　検討する必要がある。課題にしたい。  　・成績の出し方をどのようにしているか。  　　　→　テストの目的を明確にする必要がある。公的な基準はないが、実際公的に使用されているので慎重に考えるべき。 |